

東日本大震災津波に係る  
「令和3年度県外及び県内避難者実態調査」  
結果

令和3年12月

岩手県復興防災部復興くらし再建課



## 1 調査の概要

### (1) 調査目的

東日本大震災津波に係る県外及び県内各市町村への避難者の実態を把握し、帰郷意向等を確認するとともに、今後の支援方策に活用すること。

### (2) 調査対象

東日本大震災津波により本県で被災し、被災元市町村を離れ、県内外に避難している 1,073 世帯

※ 1 全国避難者情報システム登録世帯及び都道府県・市町村が独自に避難者として把握している世帯

※ 2 令和元年度に実施した前回調査で帰郷予定なし及び帰郷済みと回答した世帯を除く。

### (3) 調査期間

令和 3 年 7～10 月（1 回目：7～8 月、2 回目：8～9 月）

### (4) 調査方法

郵便による調査

※ 1 回目の調査で回答のない世帯に対して 2 回目の調査を実施。

### (5) 調査項目

問 1 県内、避難元市町村への帰郷予定

問 2 現在の居住地を避難先に選んだ理由

問 3 現在地への住民票の異動の有無及びその理由

問 4 県内、避難元市町村に帰郷する上で支障となること

問 5 県内、避難元市町村に帰郷する際の住まいの希望

問 6 県内、避難元市町村に帰郷する上で心配な事

問 7 県内、避難元市町村に帰郷する上で必要な情報

問 8 今の生活で困っていることや不安なこと

問 9 自由記載欄

問 10 県からの情報提供の希望の有無（現在情報提供を受けている方のみ回答）

※ 問 2～8 は、問 1 で「5 年以内に帰郷する具体的な予定がある」「いずれは帰郷したいが、当面は考えていない」「未定」と回答した方のみ回答。

### (6) 回収結果

全体 620 世帯（回収率 57.8%）

うち県外避難者名簿登載者 227 世帯（回収率 52.2%）

うち県内避難者名簿登載者 393 世帯（回収率 61.6%）

### (7) 調査実施者

いわて被災者支援センター

#### 【留意事項】

- 1 回答割合は、小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、「2 回答世帯の状況」、「3 調査結果」問 1、問 3 (1) 及び参考について合計が 100%にならない場合があること。また、回答数を回答世帯数で除して算出しているため、複数回答の設問（問 2～8）について合計が 100%以上となること。
- 2 図表等で選択肢の語句等を一部簡略化している場合があること。

## 2 回答世帯の状況

### (1) 回答者の年齢

	全体		県外		県内	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
20代	8	1.3%	3	1.3%	5	1.3%
30代	34	5.5%	11	4.8%	23	5.9%
40代	83	13.4%	25	11.0%	58	14.8%
50代	103	16.6%	31	13.7%	72	18.3%
60代	82	13.2%	24	10.6%	59	15.0%
70代	128	20.6%	46	20.3%	82	20.9%
80代以上	170	27.4%	79	34.8%	90	22.9%
不明	12	1.9%	8	3.5%	4	1.0%
計	620	100.0%	227	100.0%	393	100.0%

### (2) 被災時の居住地

	回答数	割合
宮古市	89	14.4%
大船渡市	70	11.3%
陸前高田市	111	17.9%
釜石市	99	16.0%
大槌町	129	20.8%
山田町	93	15.0%
岩泉町	2	0.3%
田野畑村	2	0.3%
野田村	6	1.0%
その他(内陸)	19	3.1%
計	620	100.0%

(3) 現在の居住地

【県外】

		回答数	割合
北海道・東北	北海道	7	3.1%
	青森県	6	2.6%
	宮城県	37	16.3%
	秋田県	2	0.9%
	山形県	3	1.3%
	福島県	1	0.4%
	小計	56	24.7%
関東	茨城県	3	1.3%
	栃木県	2	0.9%
	群馬県	4	1.8%
	埼玉県	30	13.2%
	千葉県	20	8.8%
	東京都	44	19.4%
	神奈川県	21	9.3%
	小計	124	54.6%
中部	石川県	1	0.4%
	山梨県	1	0.4%
	長野県	2	0.9%
	岐阜県	1	0.4%
	静岡県	5	2.2%
	愛知県	15	6.6%
	小計	25	11.0%
近畿	三重県	1	0.4%
	滋賀県	1	0.4%
	京都府	1	0.4%
	大阪府	2	0.9%
	兵庫県	4	1.8%
	小計	9	4.0%
中国・四国	岡山県	1	0.4%
	広島県	3	1.3%
	山口県	1	0.4%
	愛媛県	1	0.4%
	小計	6	2.6%
九州・沖縄	福岡県	5	2.2%
	長崎県	1	0.4%
	大分県	1	0.4%
	小計	7	3.1%
計		227	100.0%

【県内】

	回答数	割合
盛岡市	150	38.2%
宮古市	13	3.3%
大船渡市	4	1.0%
花巻市	52	13.2%
北上市	44	11.2%
久慈市	2	0.5%
遠野市	3	0.8%
一関市	24	6.1%
陸前高田市	4	1.0%
釜石市	19	4.8%
二戸市	2	0.5%
八幡平市	2	0.5%
奥州市	28	7.1%
滝沢市	12	3.1%
雫石町	4	1.0%
葛巻町	1	0.3%
岩手町	1	0.3%
紫波町	8	2.0%
矢巾町	5	1.3%
金ヶ崎町	5	1.3%
大槌町	5	1.3%
山田町	5	1.3%
計	393	100.0%

(4) 現在の住家の状況

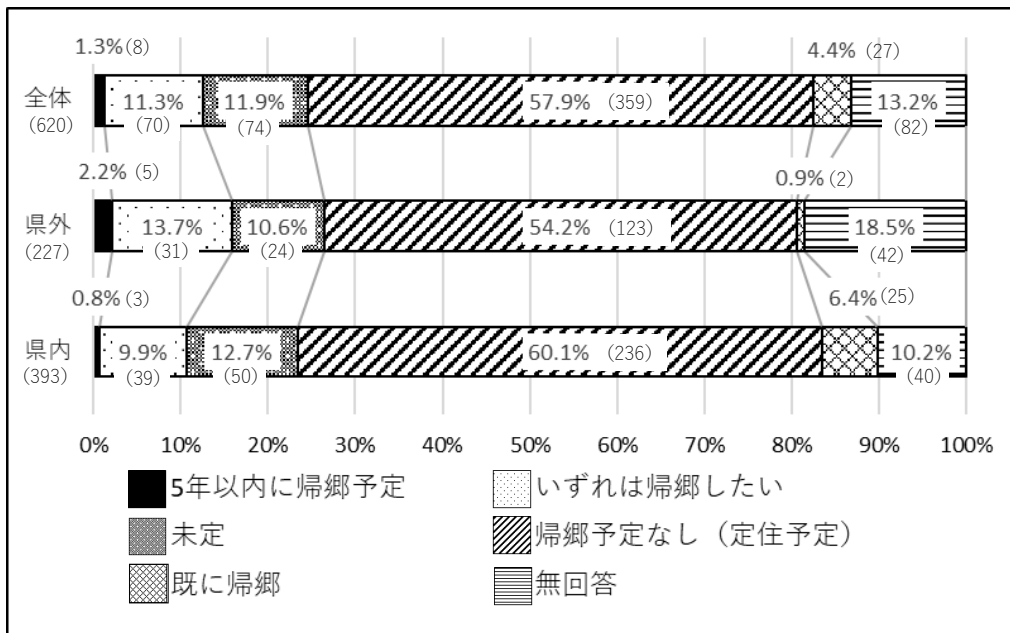
	回答数	割合		回答数	割合
自宅再建	146	23.5%	親族・知人宅	93	15.0%
賃貸住宅（公営住宅含む）	180	29.0%	その他（特別養護老人ホームなど）	33	5.3%
災害公営住宅	89	14.4%	未回答	79	12.7%
			計	620	100.0%

### 3 調査結果

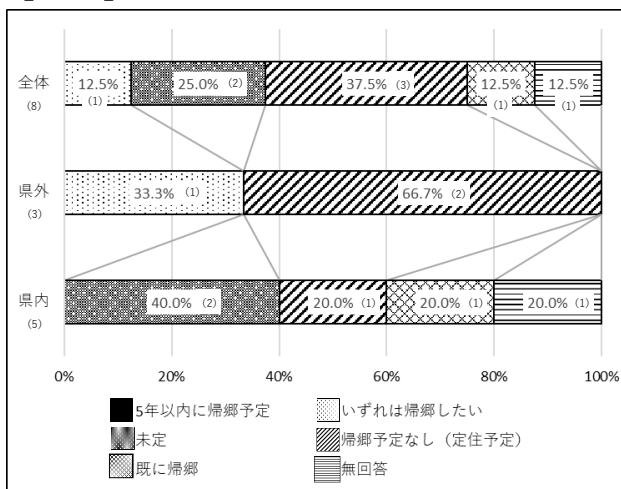
#### 問1 県内、避難元市町村への帰郷予定について教えてください。

「5年以内に帰郷する具体的な予定がある」「いずれは帰郷したいが、当面は考えていない」を合わせた割合は、県外避難者が15.9%、県内避難者が10.7%となっており、「未定」を合わせても県外避難者が26.5%、県内避難者が23.4%にとどまっている。一方で、「帰郷予定なし（定住予定）」の割合が半数以上（県外54.2%、県内60.1%）、「無回答」が県外避難者の2割弱（18.5%）、県内避難者の約1割（10.2%）に上っている。

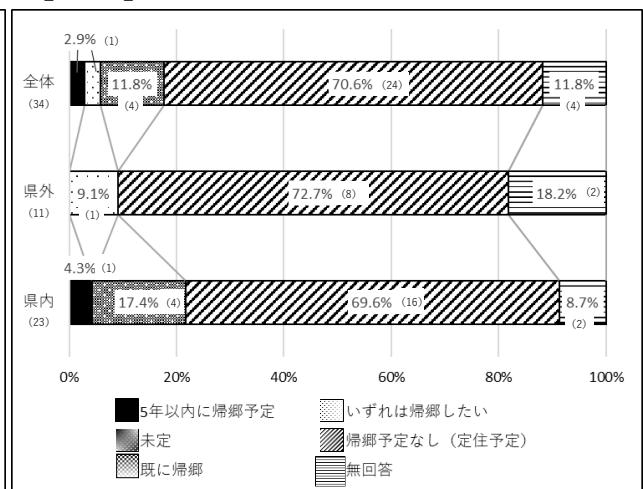
年代別に見ると、「5年以内に帰郷する具体的な予定がある」「いずれは帰郷したいが、当面は考えていない」は、20代、50代及び60代の回答が多い。



#### 【20代】

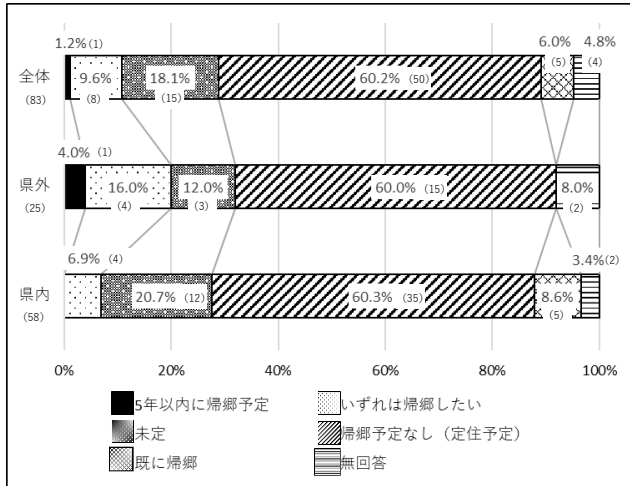


#### 【30代】

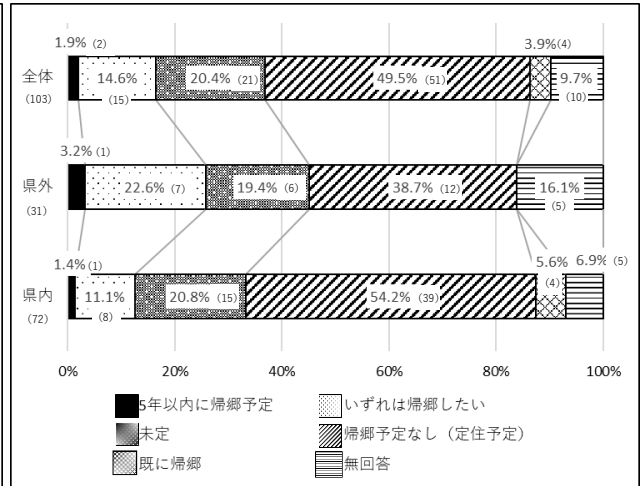


※ ( ) 内は世帯数

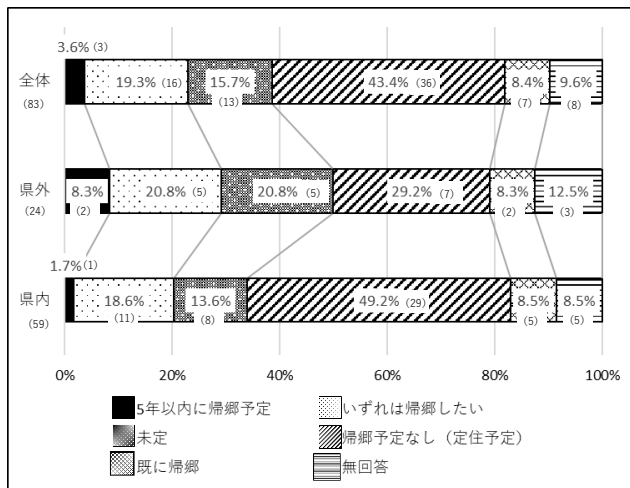
【40代】



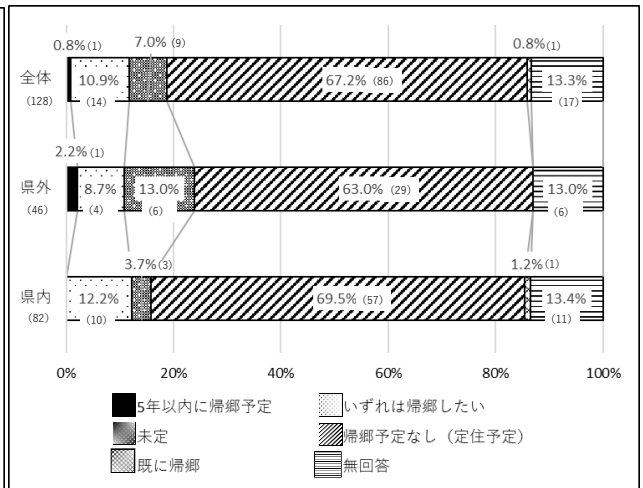
【50代】



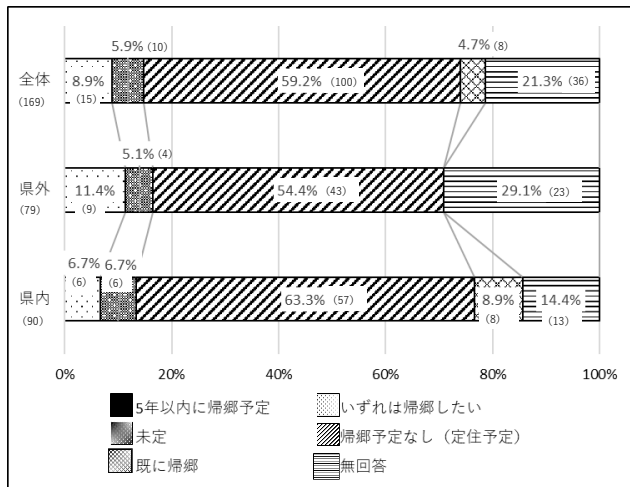
【60代】



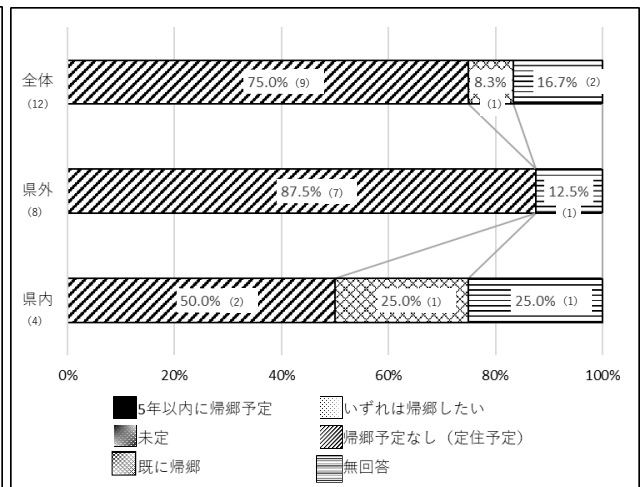
【70代】



【80代以上】



【不明】

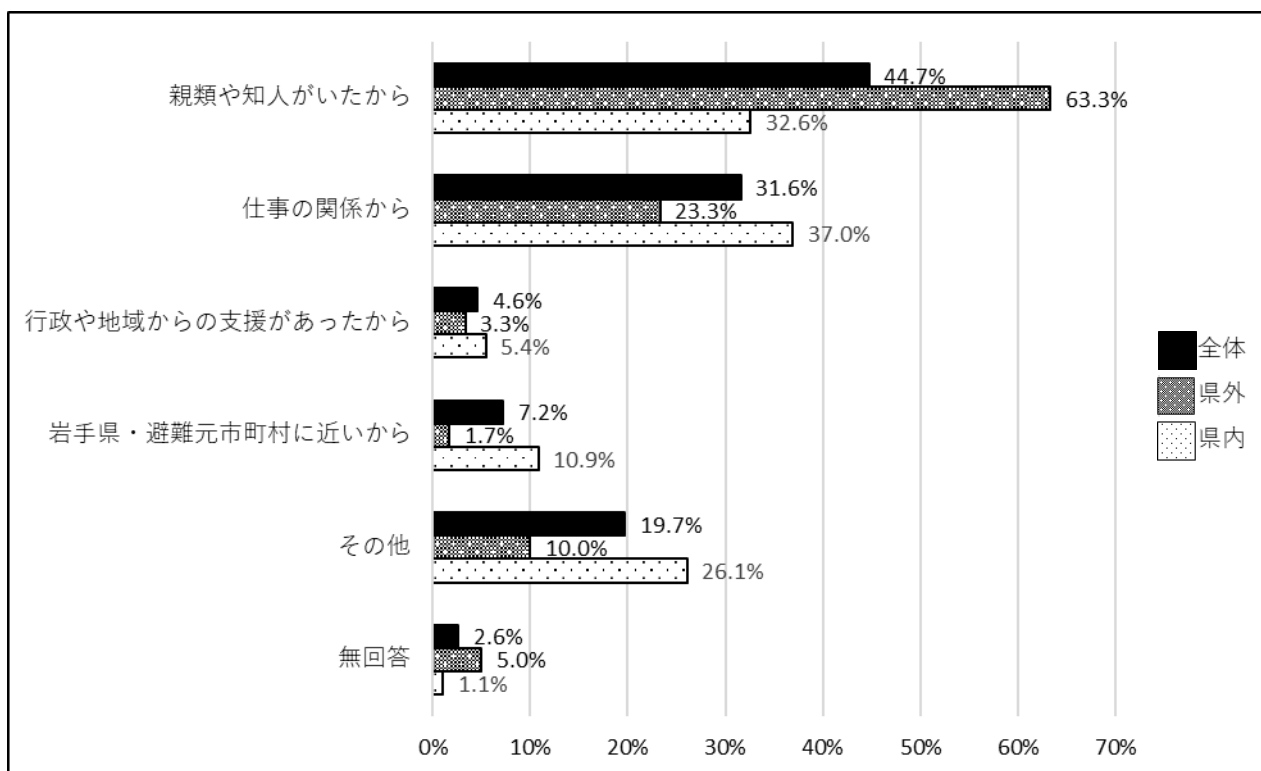


※ ( ) 内は世帯数

問2 現在居住している都道府県、市町村を避難先にした理由を教えてください。  
(複数回答)

※ 問2は、問1で「5年以内に帰郷する具体的な予定がある」「いずれは帰郷したいが、当面は考えていない」「未定」と回答した方のみ回答。

「親類や知人がいたから」(県外 63.3%、県内 32.6%)、「仕事の関係から」(県外 23.3%、県内 37.0%) の回答が多い。



※ その他

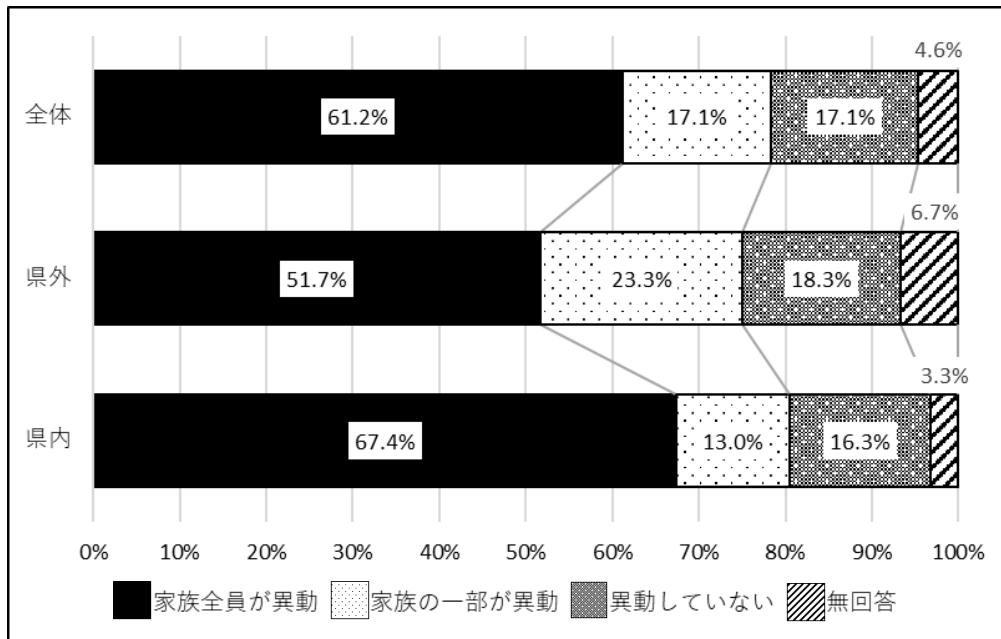
空いている中古住宅や災害公営住宅があったから、通院等にアクセスが良いから など



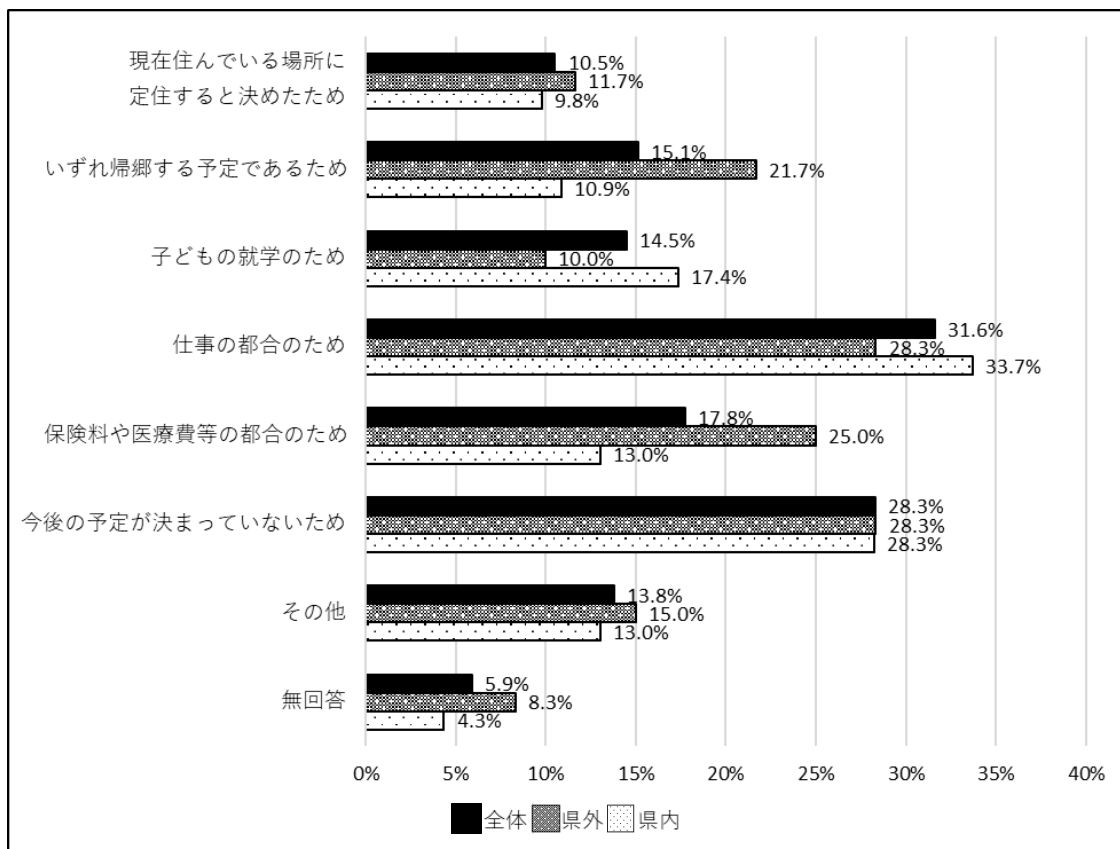
問3(1) 現在地に住民票を異動していますか。

※ 問3は、問1で「5年以内に帰郷する具体的な予定がある」「いずれは帰郷したいが、当面は考えていない」「未定」と回答した方のみ回答。

「家族全員が移動」との回答が半数以上（県外 51.7%、県内 67.4%）に上っている。  
 また、回答理由として、「仕事の都合のため」（県外 28.3%、県内 33.7%）、「今後の予定が決まっていないため」（県外・県内各 28.3%）の回答が多い。



問3(2) 問3(1)の回答について、その理由を教えてください。（複数回答）



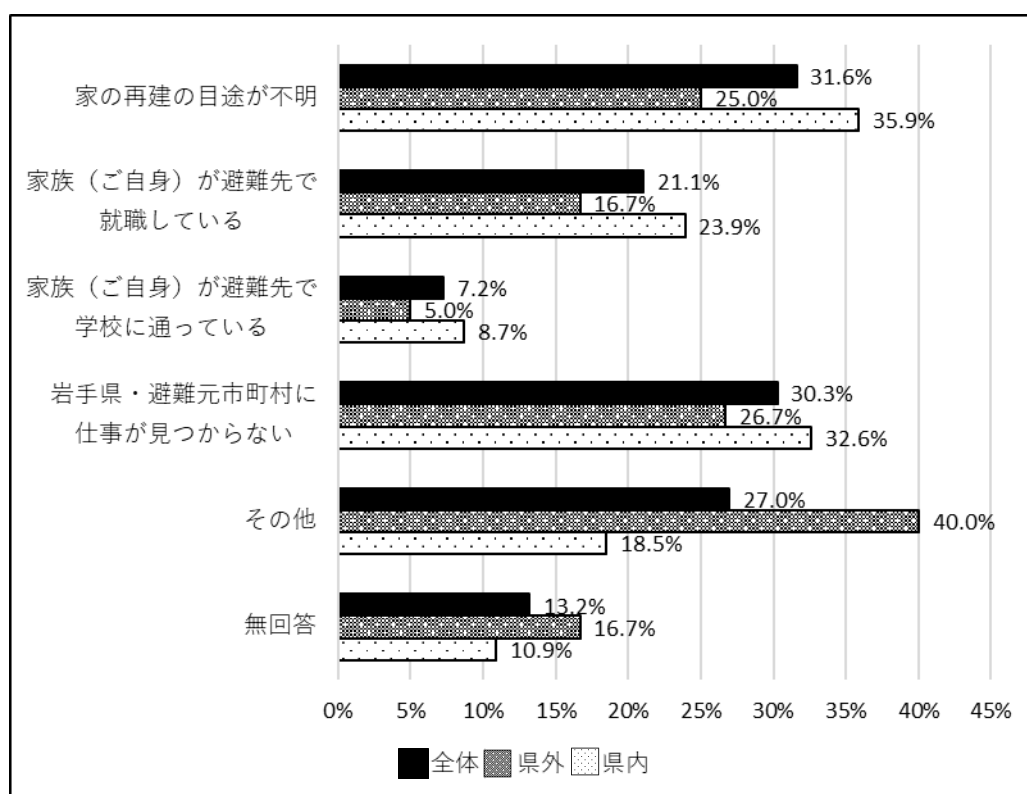
※ その他  
 婚姻のため、施設に入所するため など

問4 県内、避難元市町村に帰郷する上で、支障となることを教えてください。  
(複数回答)

※ 問4は、問1で「5年以内に帰郷する具体的な予定がある」「いずれは帰郷したいが、当面は考えていない」「未定」と回答した方のみ回答。

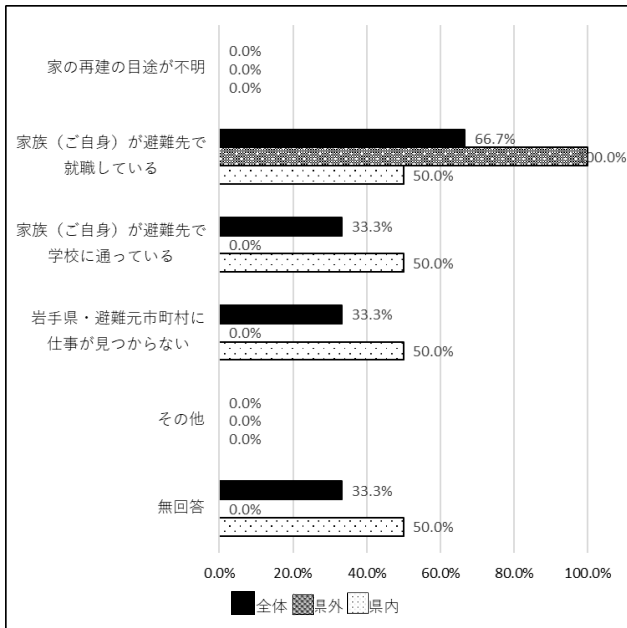
「家の再建の用途が不明」(県外 25.0%、県内 35.9%)、「岩手県・被災元市町村に仕事が見つからない」(県外 26.7%、県内 32.6%)の回答が多い。

年代別に見ると、「家の再建の用途が不明」は50代以上の回答が多く、「岩手県・避難元市町村に仕事が見つからない」は30代から50代の回答が多い。

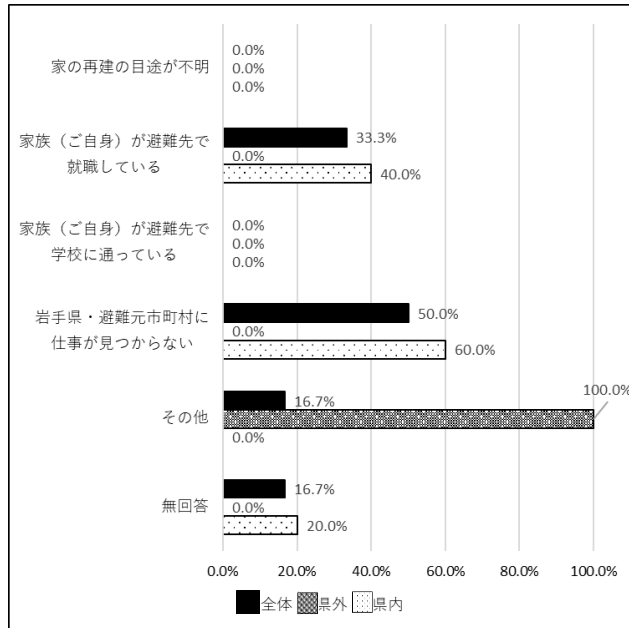


※ その他  
年齢的理由、金銭的理由 など

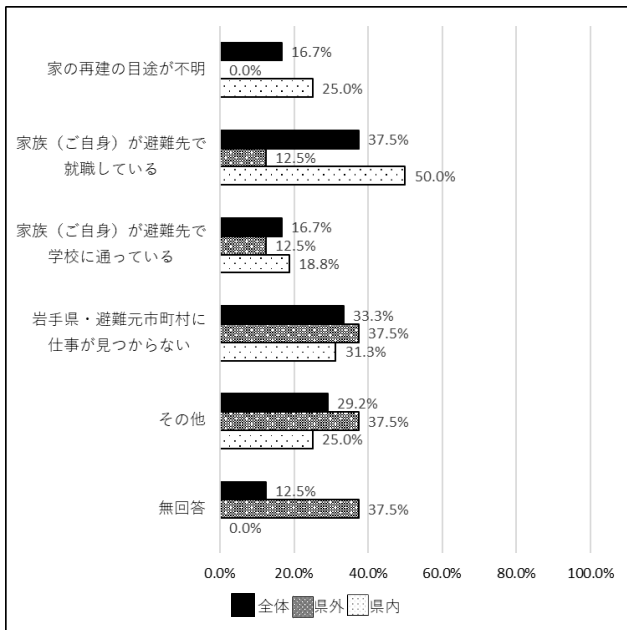
【20代】



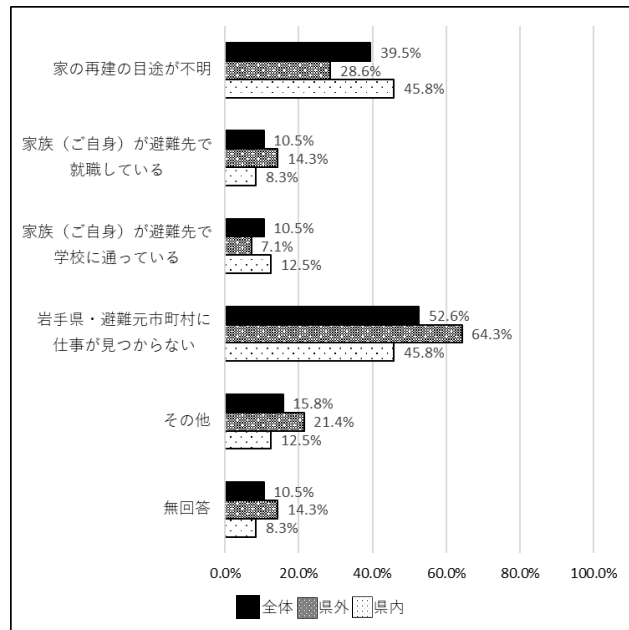
【30代】



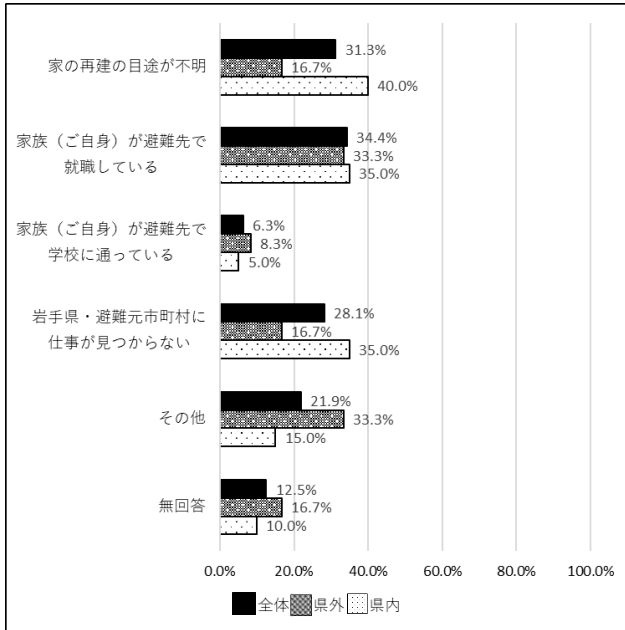
【40代】



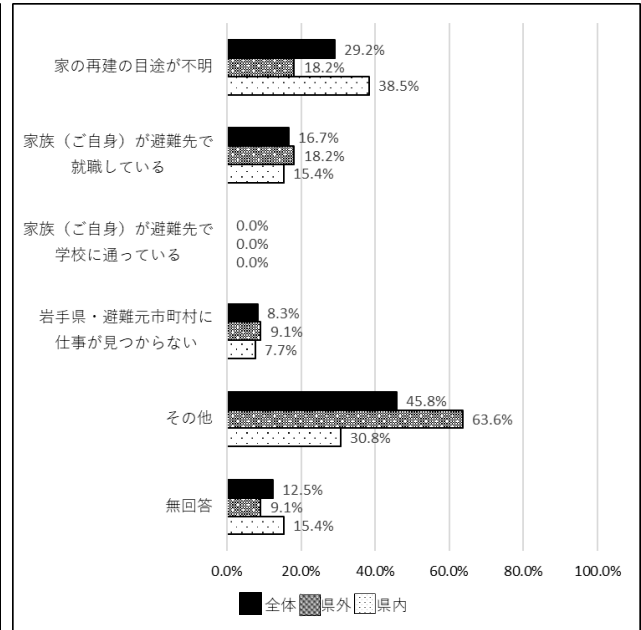
【50代】



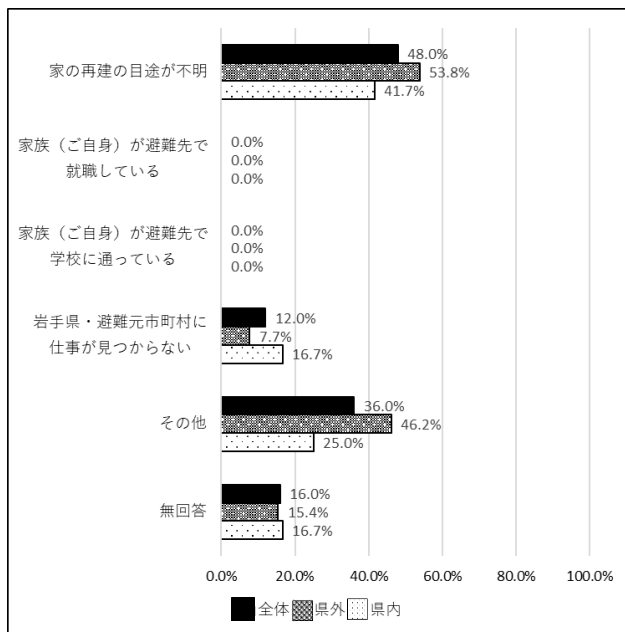
### 【60代】



### 【70代】



### 【80代以上】

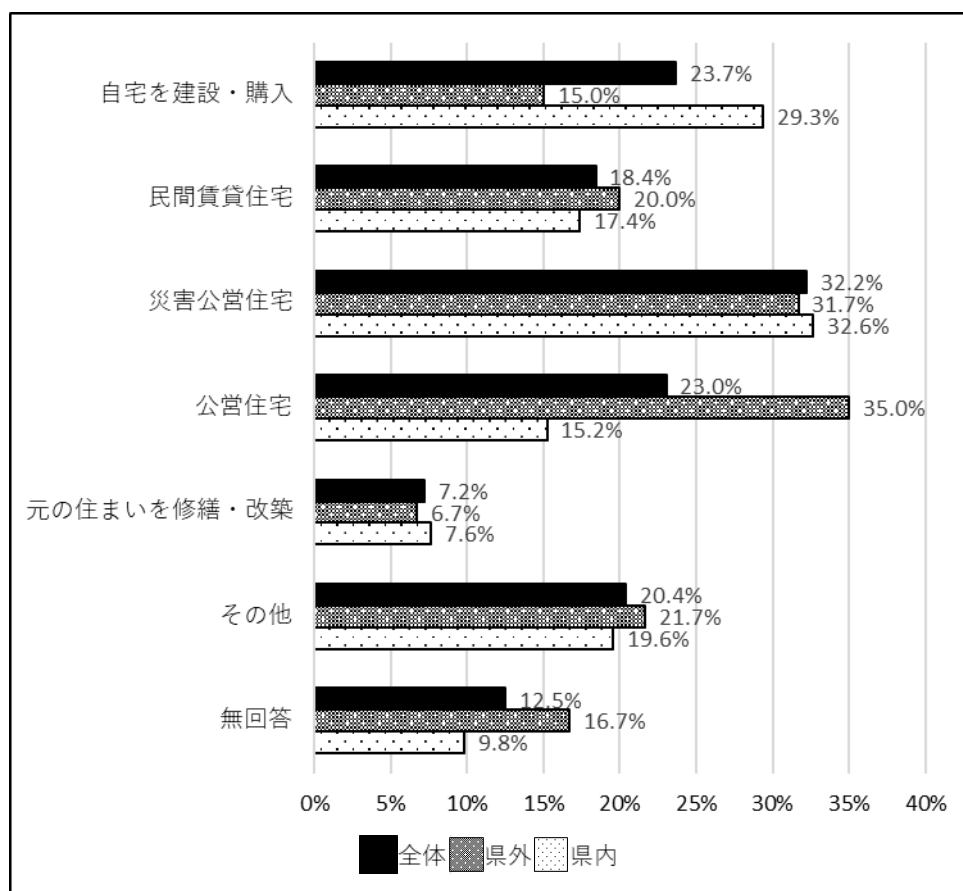


問5 県内、避難元市町村に帰郷する際のお住まいの希望を教えてください。  
(複数回答)

※ 問5は、問1で「5年以内に帰郷する具体的な予定がある」「いずれは帰郷したいが、当面は考えていない」「未定」と回答した方のみ回答。

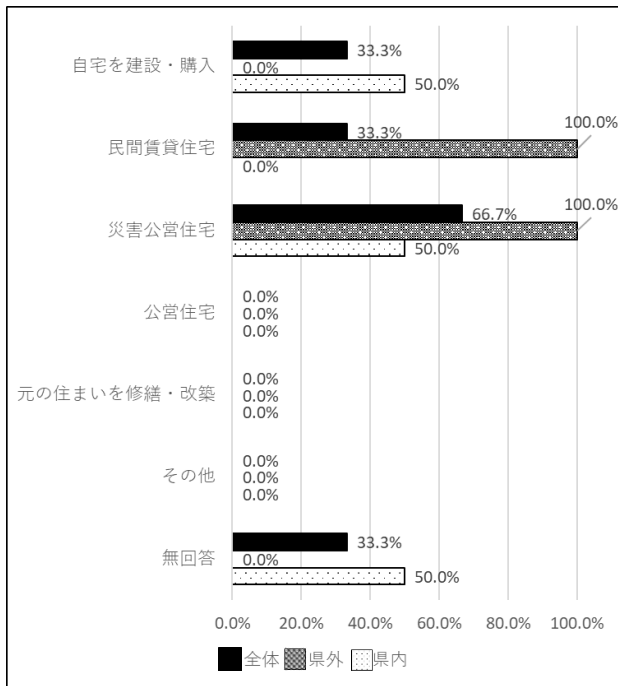
県外避難者は「公営住宅」(35.0%)、「災害公営住宅」(31.7%)、県内避難者は「災害公営住宅」(32.6%)、「自宅を建設・購入」(29.3%)の順となっており、県外・県内避難者共に災害公営住宅の回答が多い。

年代別に見ると、30代の県外避難者を除いて広い世代で「災害公営住宅」の回答が多く、また、40代から60代では「公営住宅」の回答も多い。

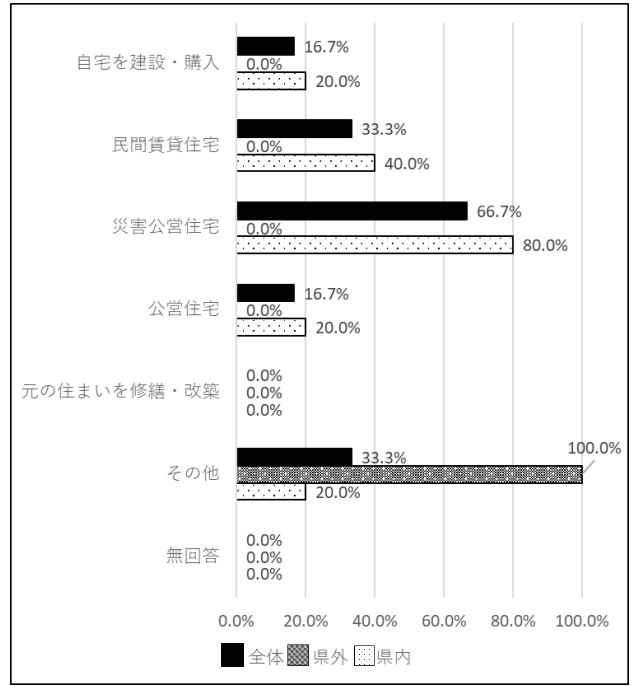


※ その他  
未定、ケアハウス など

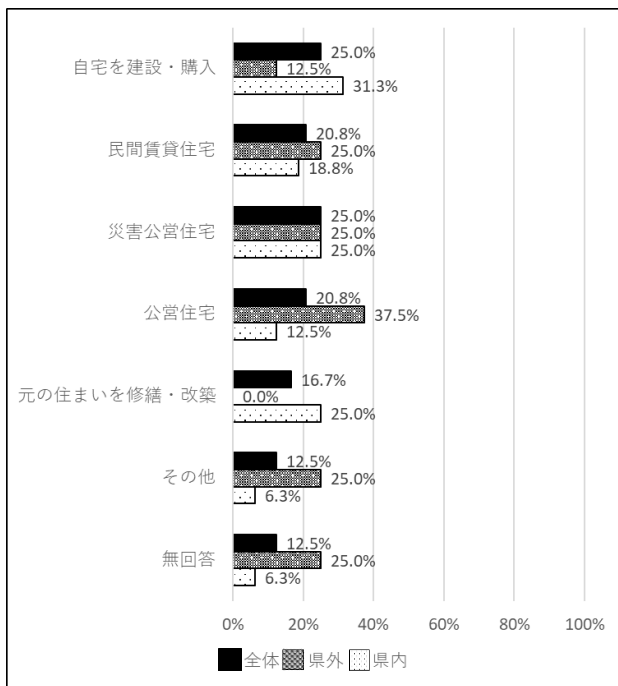
【20代】



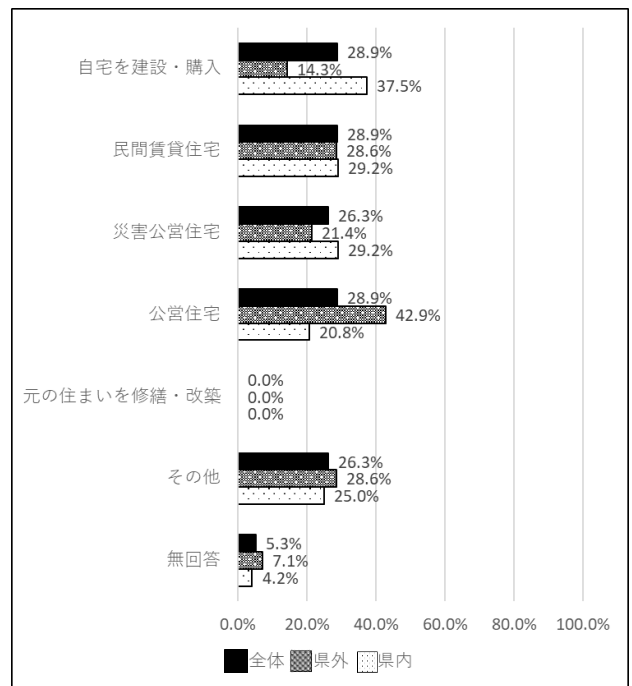
【30代】



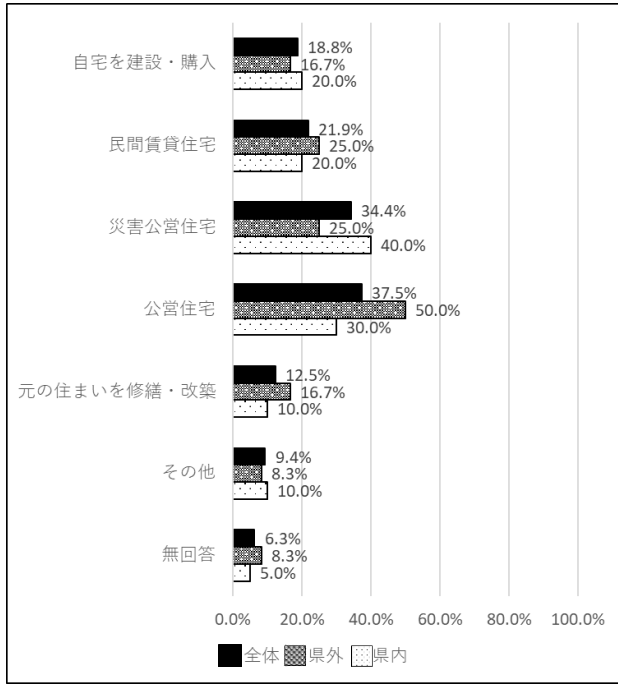
【40代】



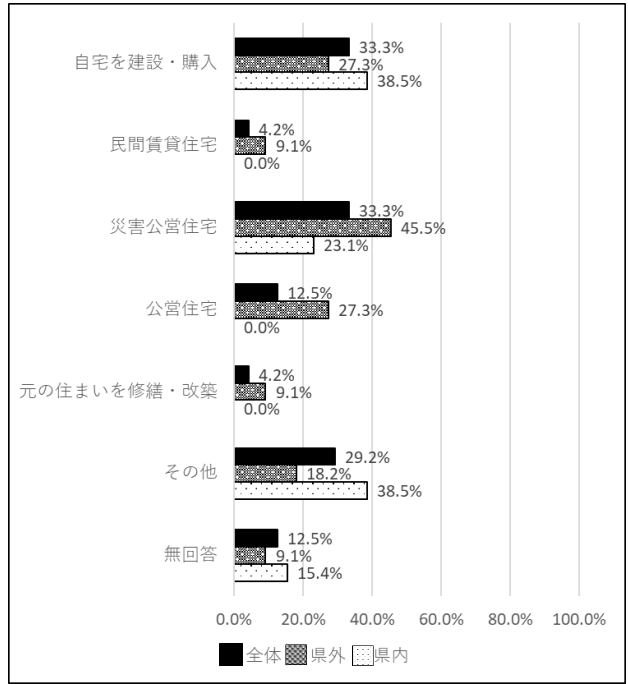
【50代】



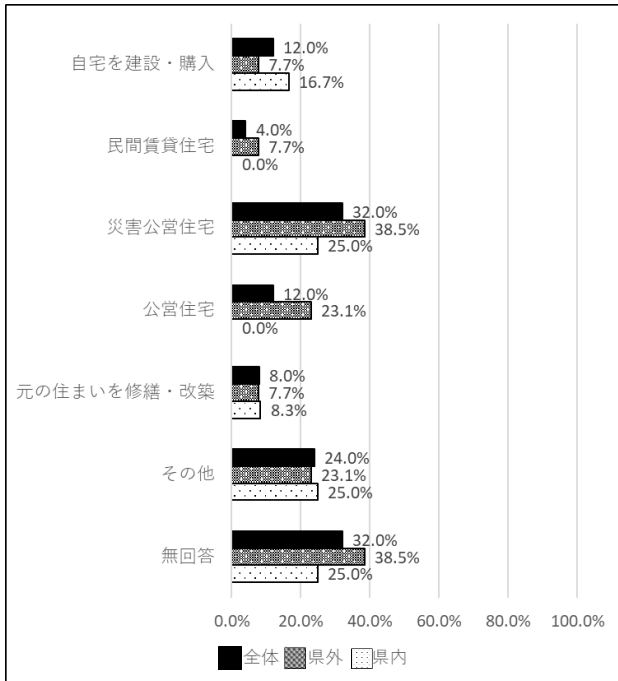
### 【60代】



### 【70代】



### 【80代以上】

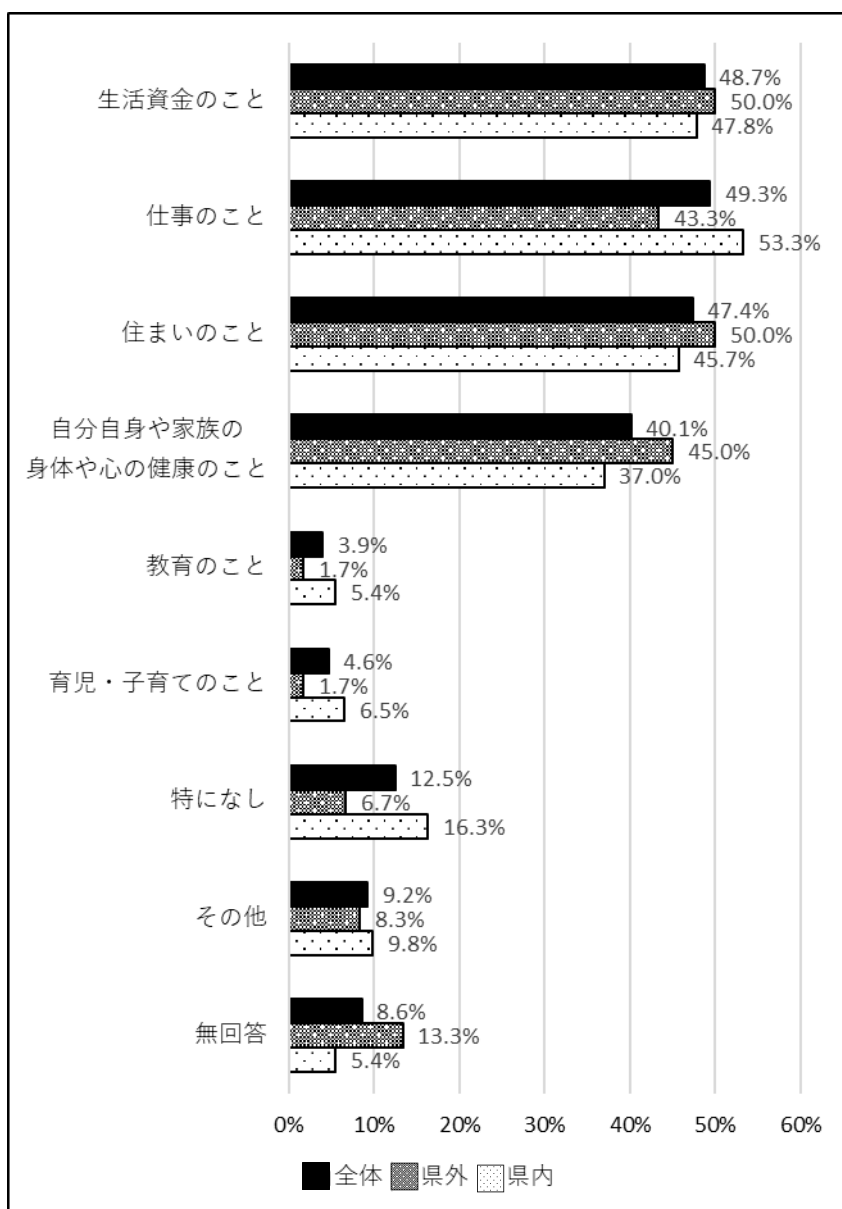


問6 県内、避難元市町村に帰郷するに当たって、心配なことを教えてください。  
(複数回答)

※ 問6は、問1で「5年以内に帰郷する具体的な予定がある」「いずれは帰郷したいが、当面は考えていない」「未定」と回答した方のみ回答。

県外・県内避難者共に「仕事のこと」(県外43.3%、県内53.3%)、「生活資金のこと」(県外50.0%、県内47.8%)、「住まいのこと」(県外50.0%、県内45.7%)、「自分自身や家族の身体や心の健康のこと」(県外45.0%、県内37.0%)の回答が多い。

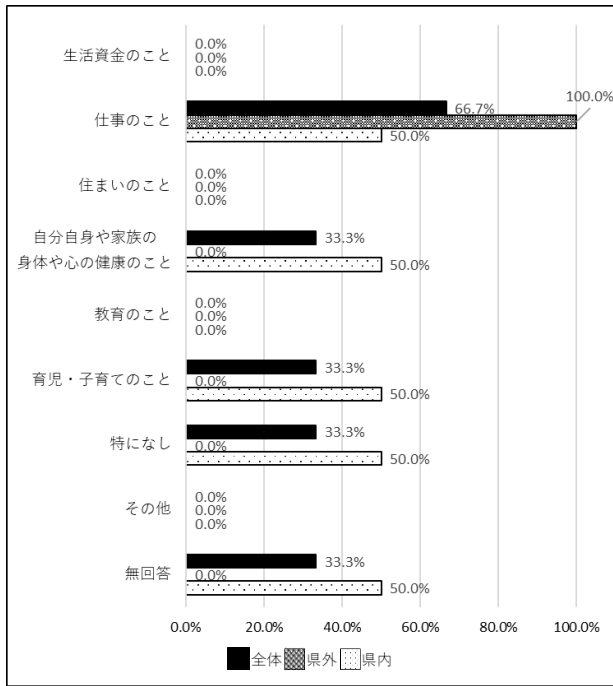
年代別に見ると、20代から60代では「仕事のこと」の回答が多く、40代以上では「自分自身や家族の身体や心の健康のこと」の回答も多い。



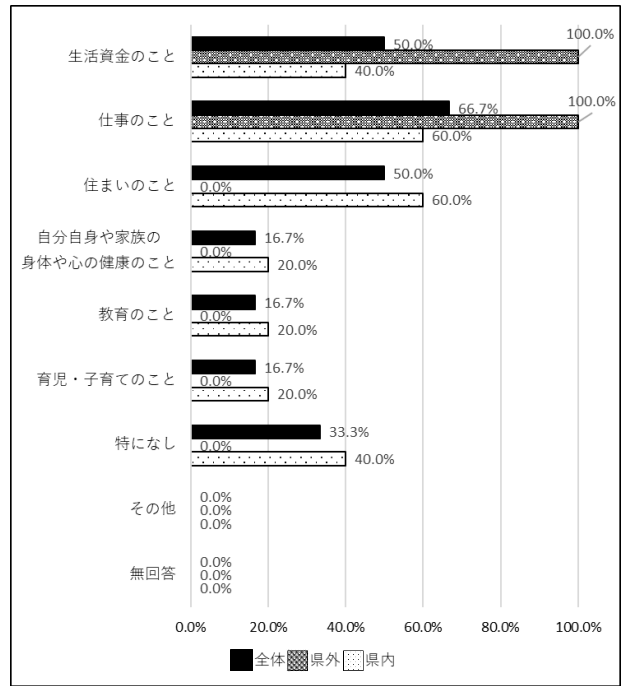
※ その他  
医療体制、地域との関わり など



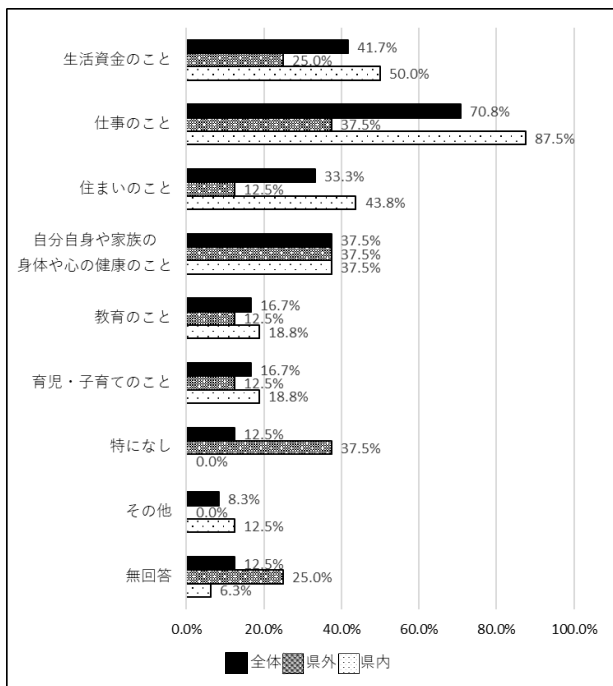
### 【20代】



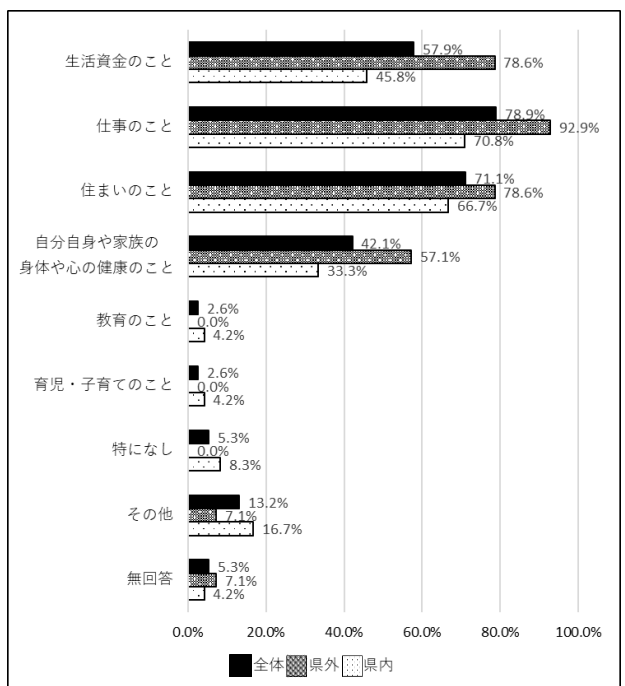
### 【30代】



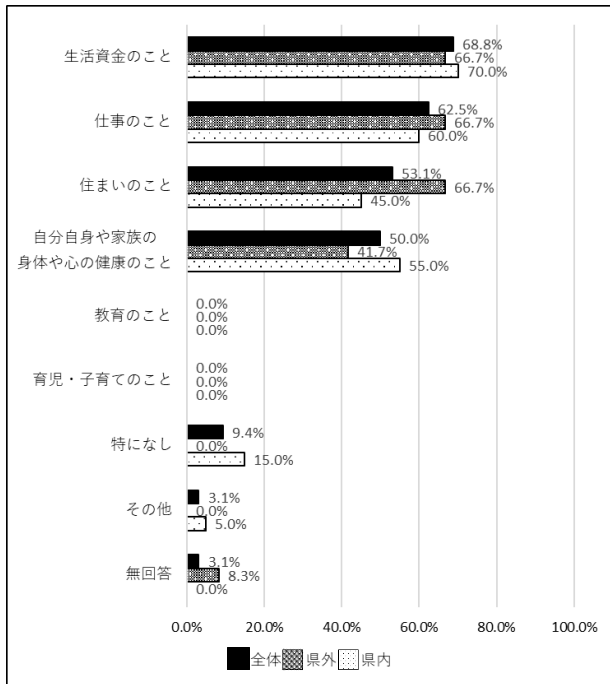
### 【40代】



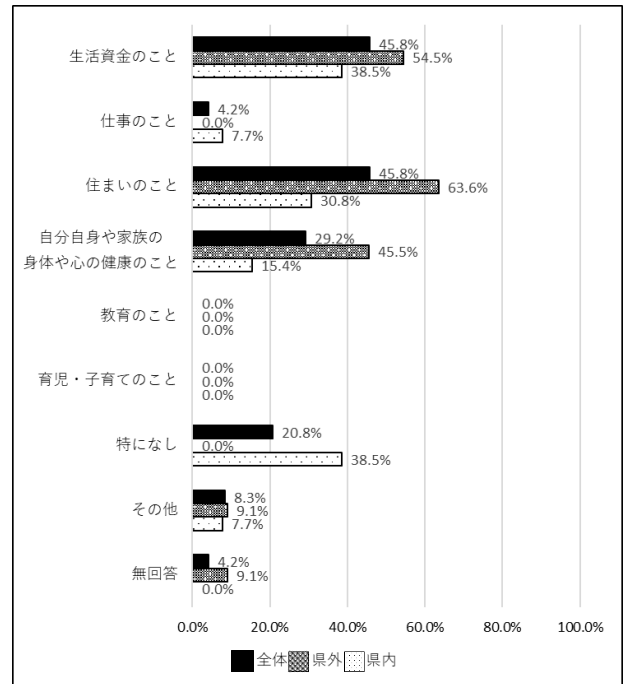
### 【50代】



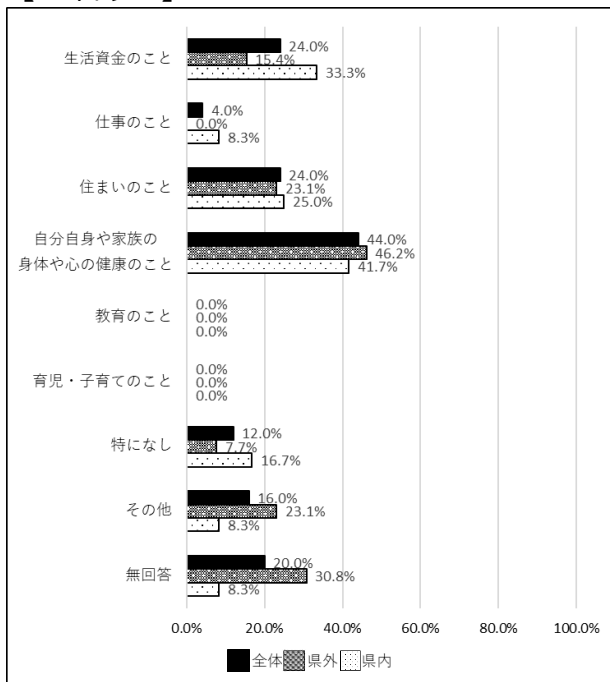
### 【60代】



### 【70代】



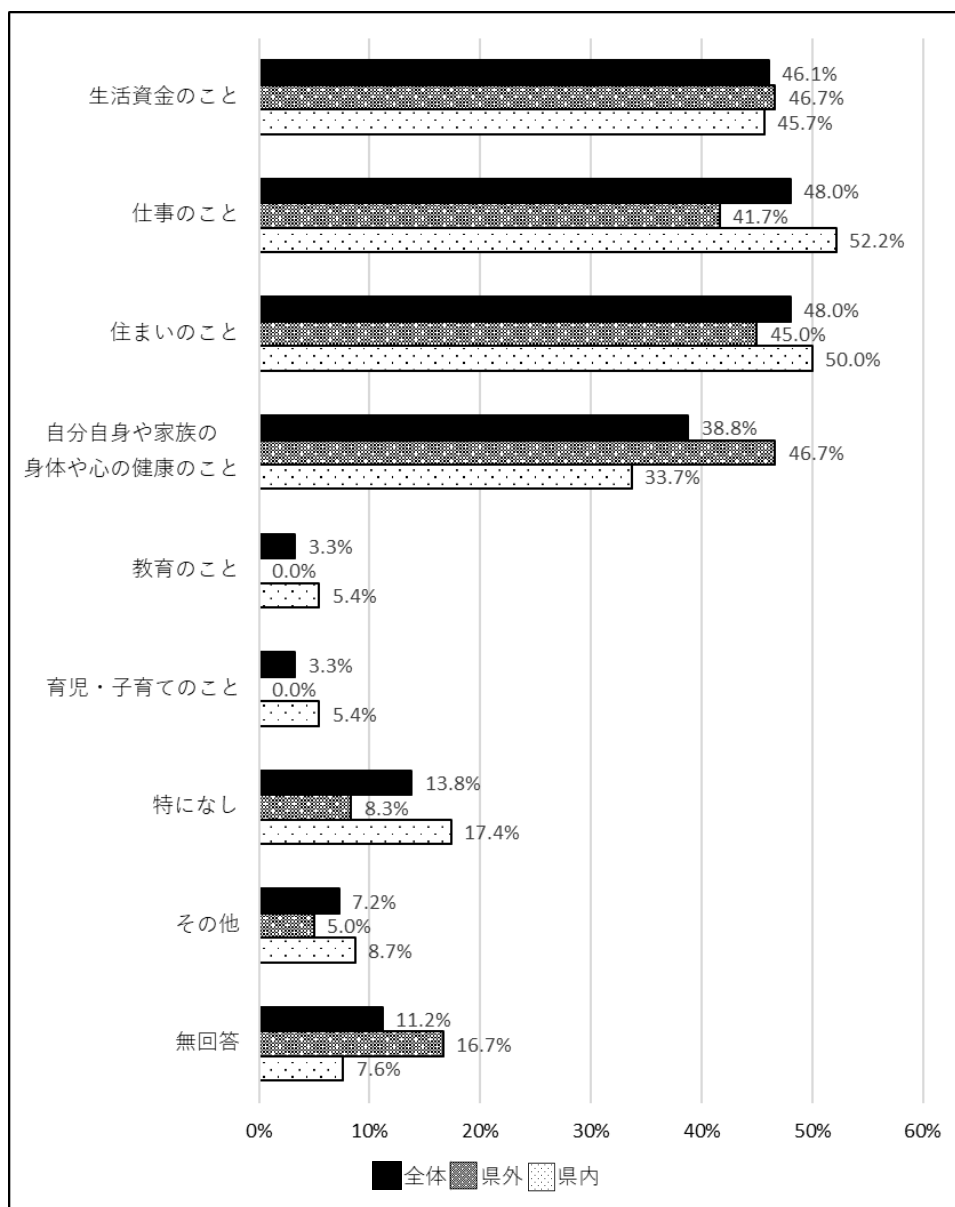
### 【80代以上】



問7 県内、避難元市町村に帰郷する上で、必要な情報を教えてください。  
(複数回答)

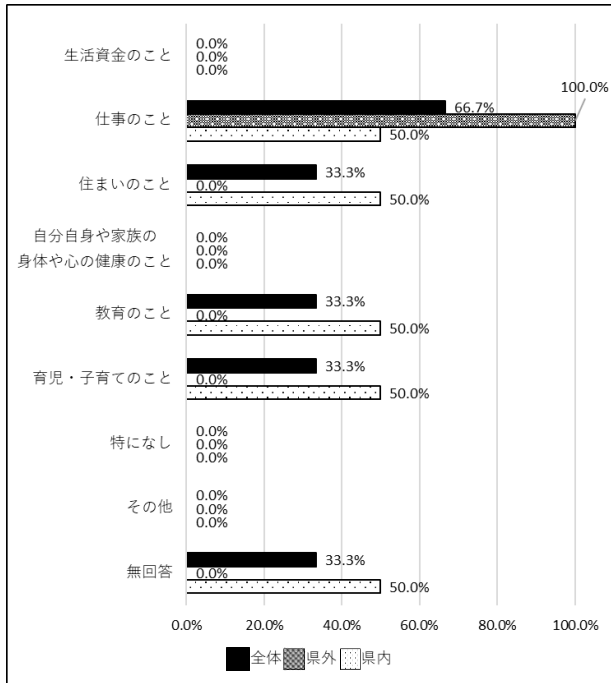
※ 問7は、問1で「5年以内に帰郷する具体的な予定がある」「いずれは帰郷したいが、当面は考えていない」「未定」と回答した方のみ回答。

県外・県内避難者共に「仕事のこと」(県外 41.7%、県内 52.2%)「住まいのこと」(県外 45.0%、県内 50.0%)、「生活資金のこと」(県外 46.7%、県内 45.7%)、「自分自身や家族の身体や心の健康のこと」(県外 46.7%、県内 33.7%)の回答が多く、年代別も含め問6と同様の傾向となっている。

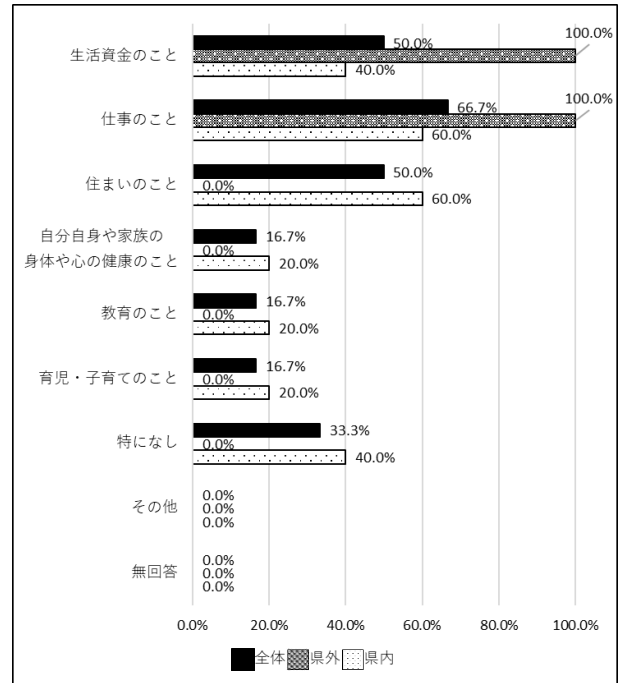


※ その他  
避難元地域の状況、介護のこと など

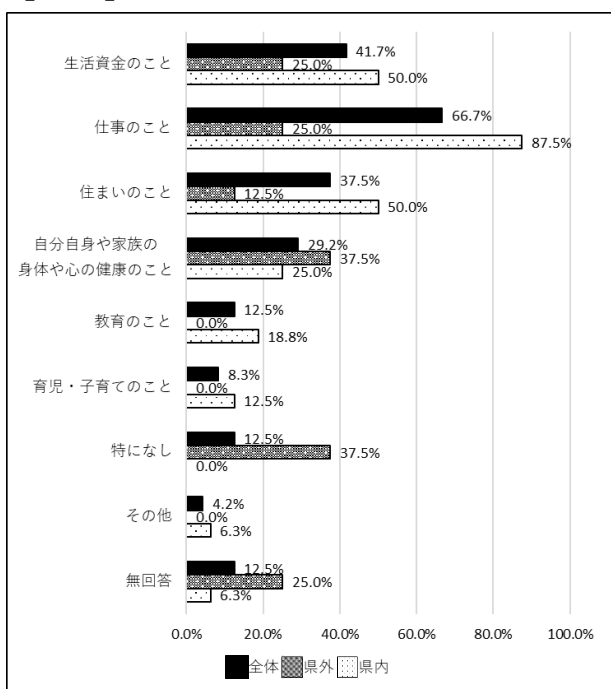
### 【20代】



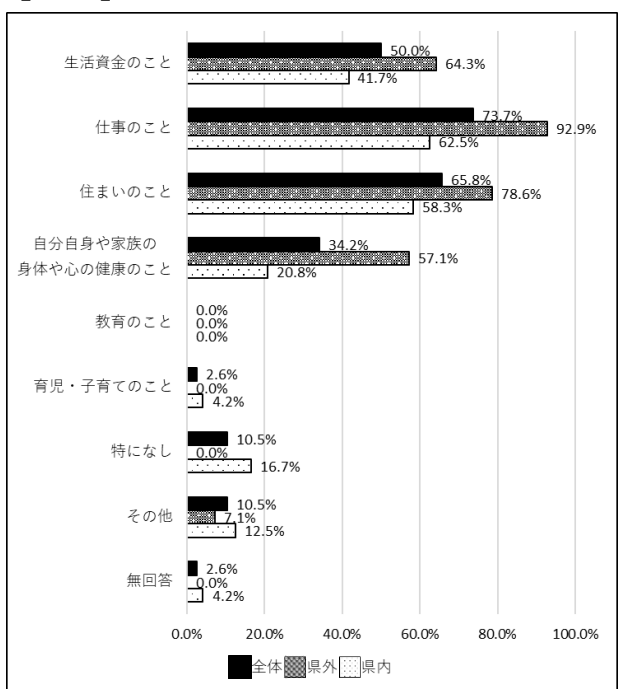
### 【30代】



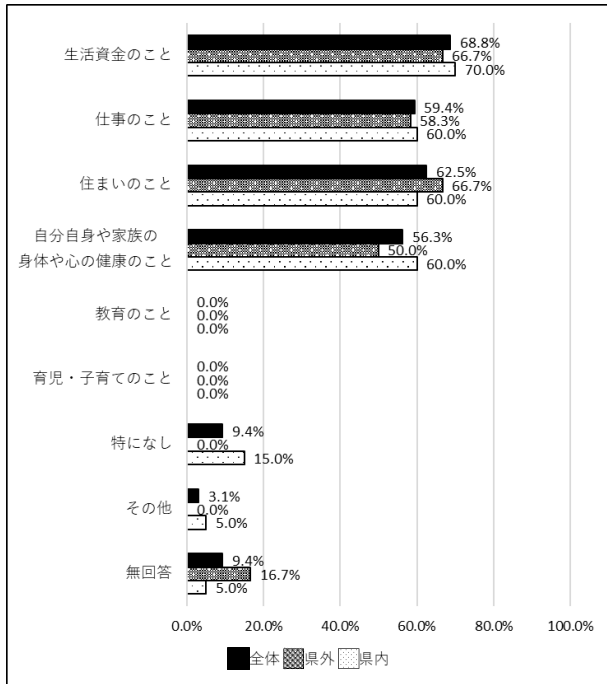
### 【40代】



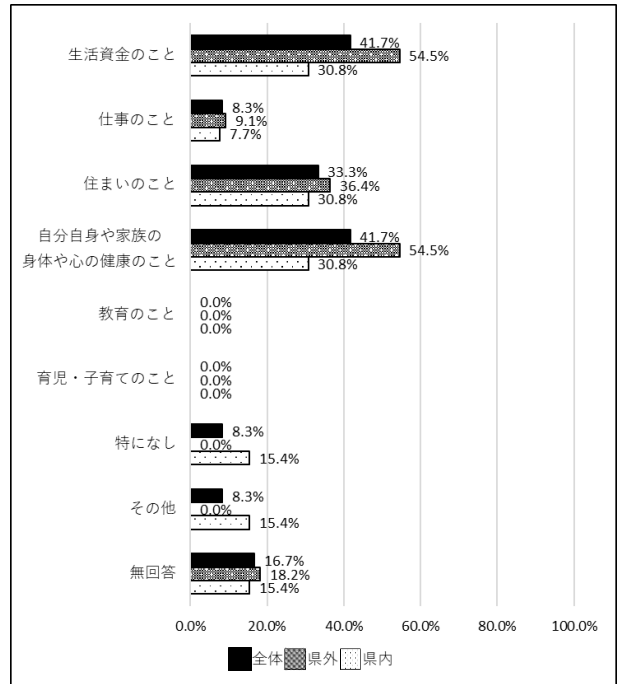
### 【50代】



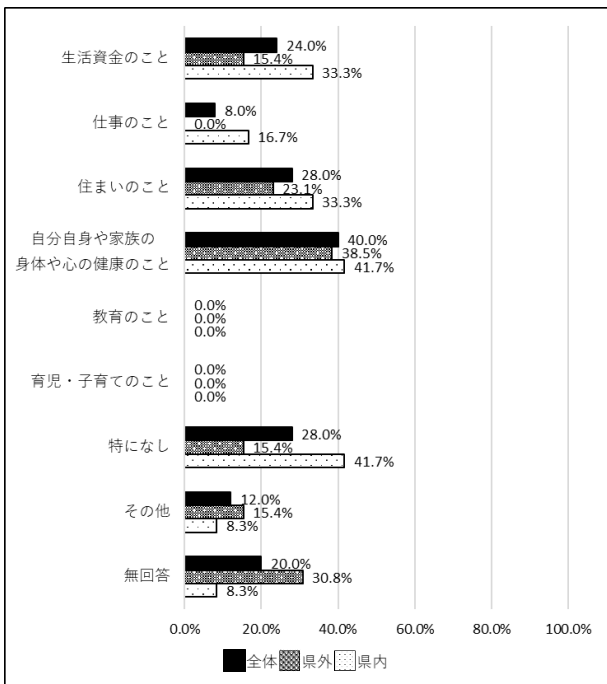
### 【60代】



### 【70代】



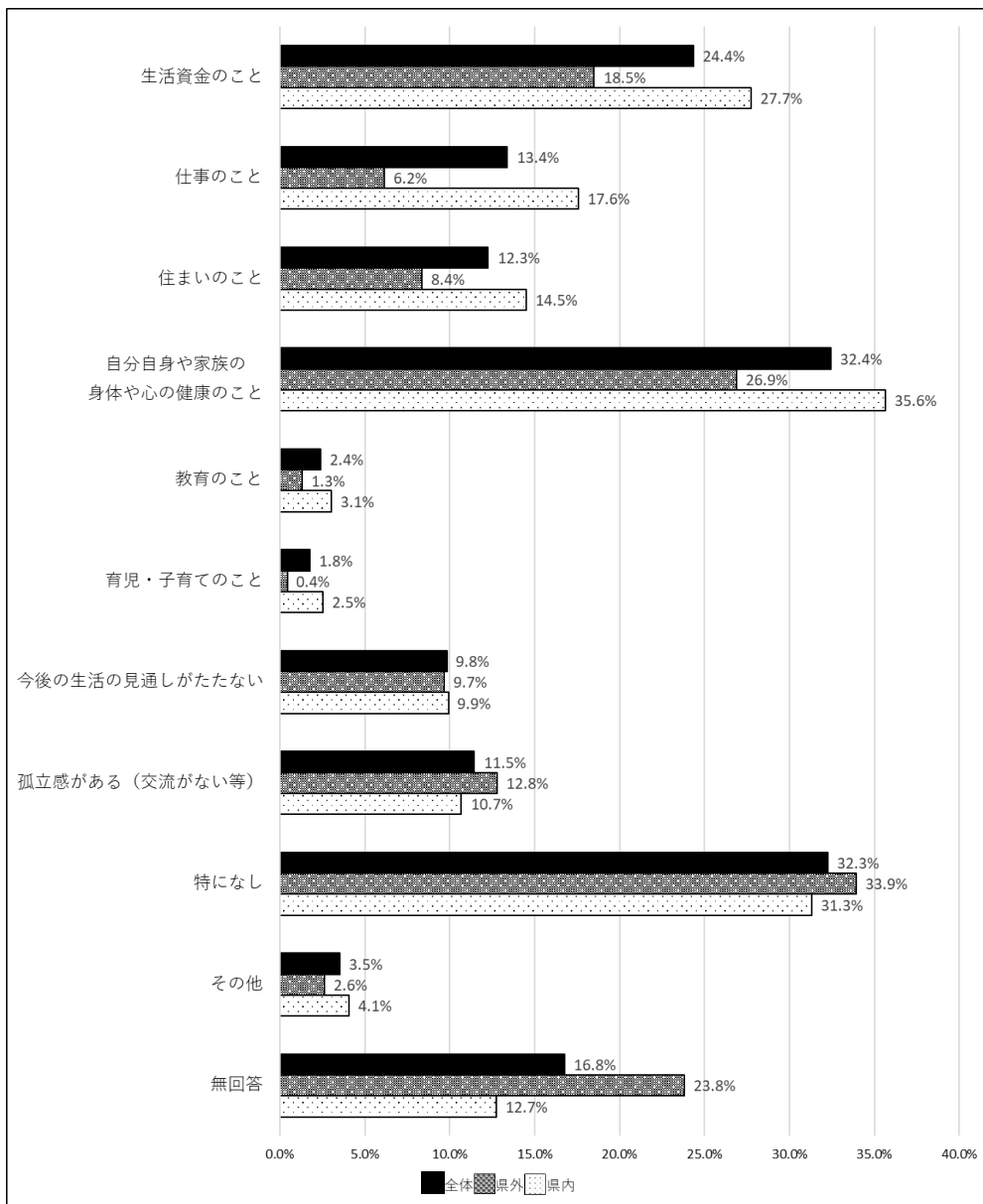
### 【80代以上】



問8 今の生活で困っていることや不安なことを教えてください。(複数回答)

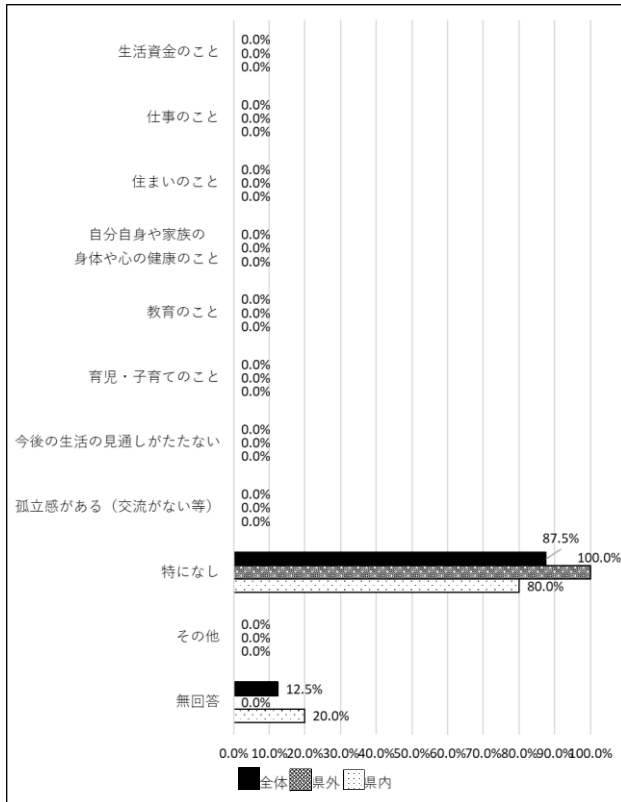
県外・県内避難者共に「自分自身や家族の身体や心の健康のこと」(県外 26.9%、県内 35.6%)、「生活資金のこと」(県外 18.5%、県内 27.7%)の回答が多い一方で、「特になし」(県外 33.9%、県内 31.3%)の回答も多い。

年代別に見ると、県外・県内避難者共に50代以上から「自分自身や家族の身体や心の健康のこと」「生活資金のこと」の回答が多くなっている。

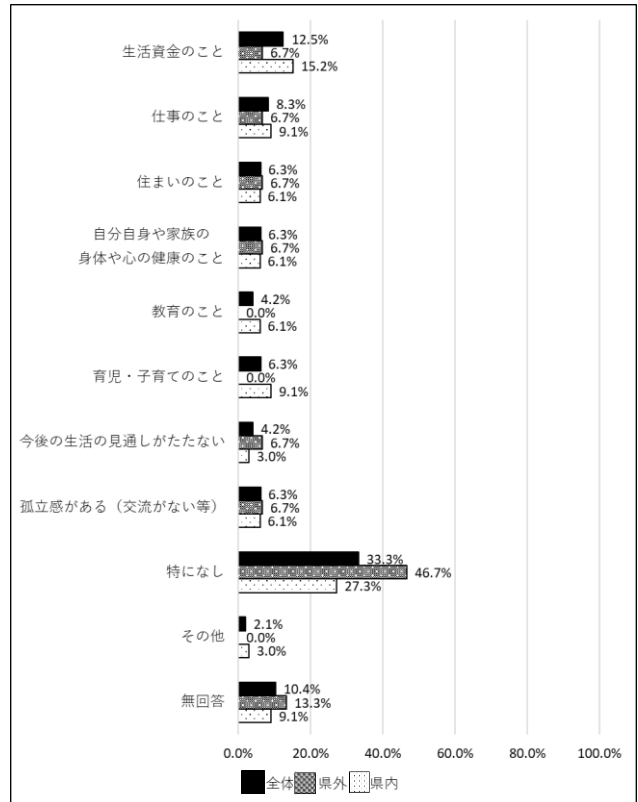


※ その他  
近所付き合いのこと、税金のこと など

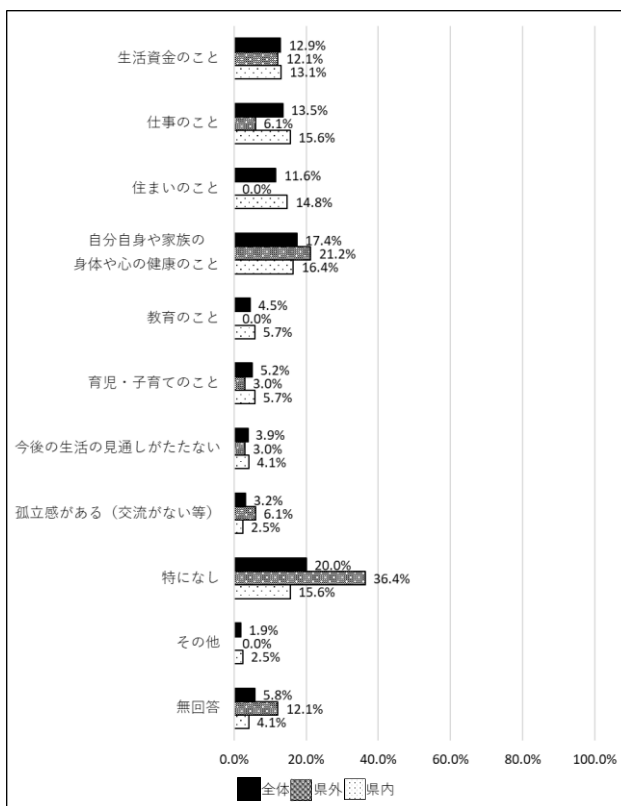
### 【20代】



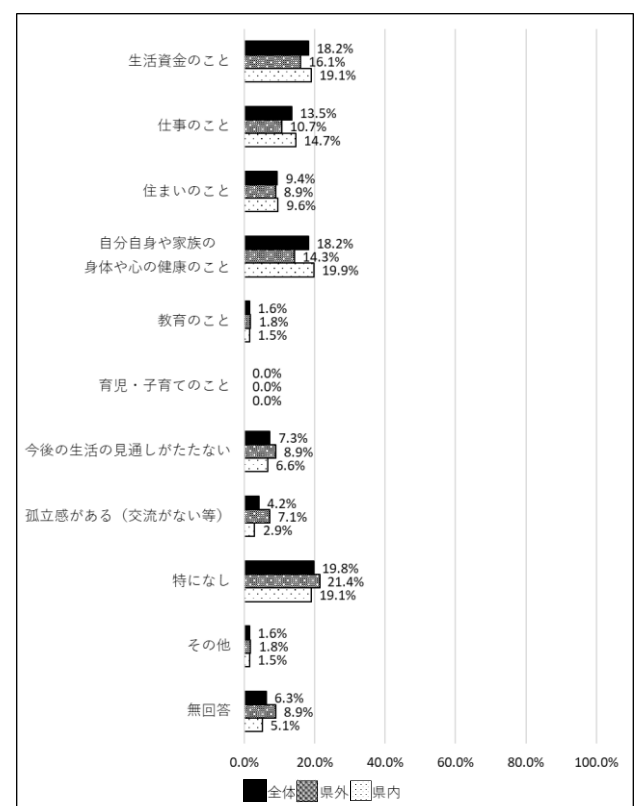
### 【30代】



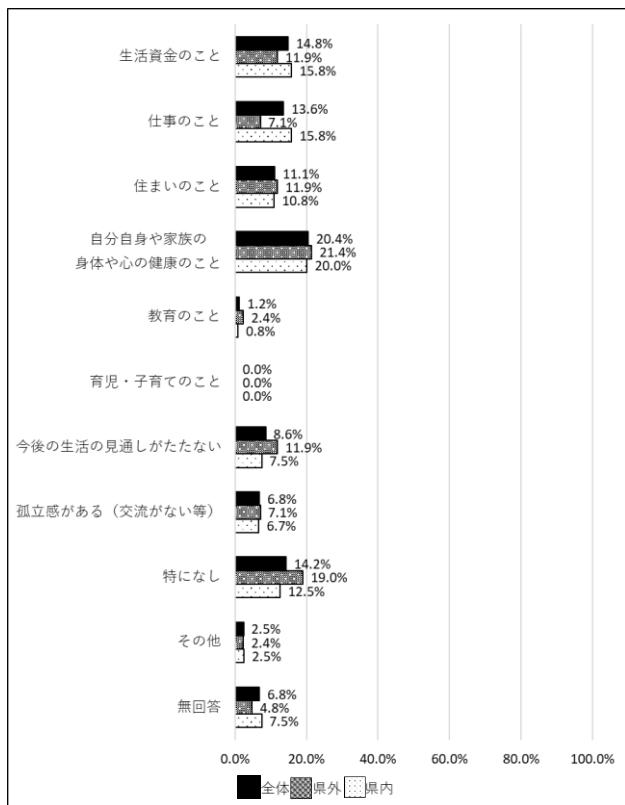
### 【40代】



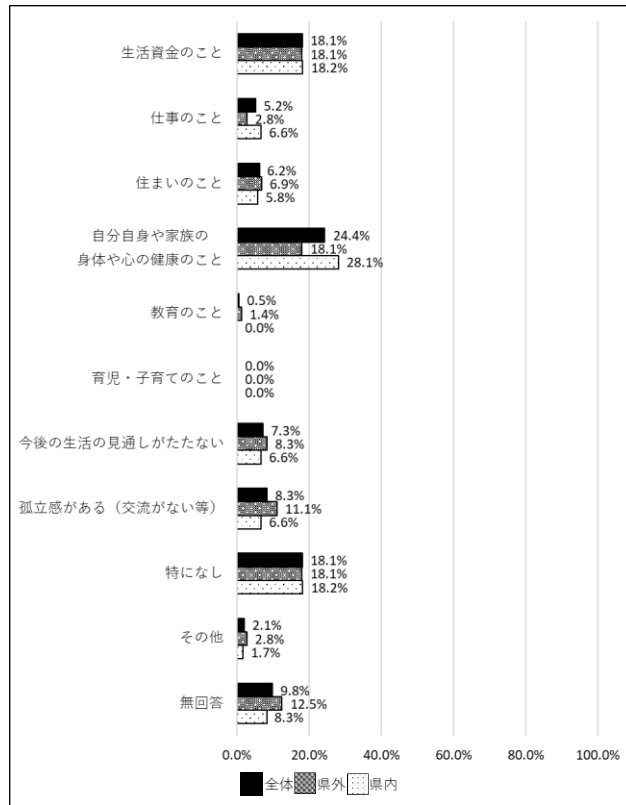
### 【50代】



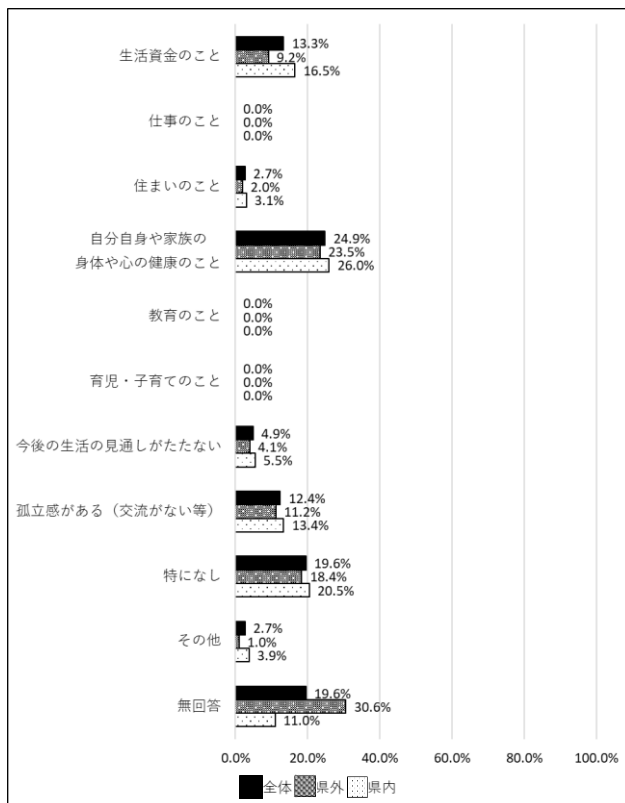
### 【60代】



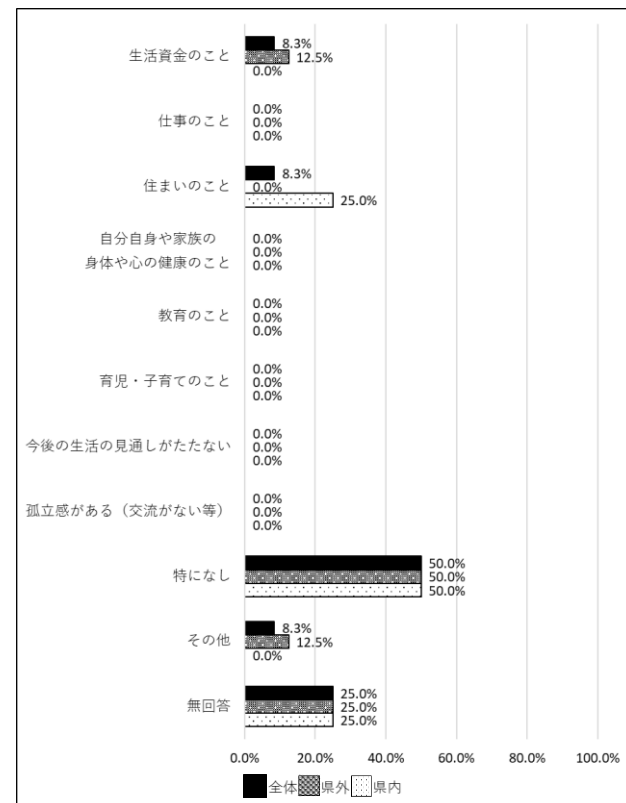
### 【70代】



### 【80代以上】



### 【不明】





問9 その他ご意見等がありましたらご自由にご記入願います。(自由記載・主なもの)  
(一部個人情報を除き、原文のまま記載。)

(1) 岩手県、避難元市町村に帰郷する上で必要なこと

【県外】

- ・ 岩手に帰郷する上で必要なことは生活資金、住まい、仕事です。
- ・ 同居人である夫が現在血液透析中であり週3回(一日当たり5時間)の通院中で条件にあった医療施設がなかなかないため帰郷に踏み切れないこと。
- ・ もしも自分が帰郷することになった場合、災害公営住宅の家賃などの情報がほしくなると思う

【県内】

- ・ 避難元市町村の施設の情報を知りたい。

(2) これまで受けてきた支援で良かった支援・改善して欲しい支援

【県外】

- ・ 大震災のあとみなし仮設の家賃補助、そして何より多額の義援金をいただき何とか生活できましたことをいつまでも感謝しております。
- ・ 被災してすぐ関東へ移住し賃貸住宅の家賃が無料だったり色々なイベントの招待だったり支援だったりとても助かりましたし様々な経験をさせていただきました。
- ・ 岩手の情報を定期的に送っていただけることでつながりを感じられます。

【県内】

- ・ 10年間医療費免除を受けられましたことに感謝します。ありがとうございました。
- ・ みなし住宅時の家賃の支払いを支援していただいたこと。
- ・ 盛岡市に災害公営住宅を作っていただけるとは思いませんでした。本当に助かりました。ありがとうございました。
- ・ みなし終了後も家賃補助があればよかったと思う。
- ・ 子どもたちの教育費用の支援はとても助かりました。給食費や授業料、高校短大入学時の支援は本当に我が家にとってなくてはならない状況だったので助けていただきました。
- ・ 定期が半額になる制度があり、助かっている(44,000円が22,000円)。県北バスの職員が来年度はどうなるか不明と話していた。来年度もぜひ続けてほしい。

(3) 震災から10年、思うことや変化したこと

【県外】

- ・ 現住所に来てから4年が経ち、被災者という意識はない。
- ・ 岩手には会社定年退職後に戻る予定です。
- ・ 私も現住所に来て10年。近くに娘がいるので本当にここに来てよかったと思います。福祉が行き届いていて一人住まいの私は幸せと思います。

【県内】

- ・ これまでもご支援に対しとても感謝致します。他県で10年もの間お世話になり今春やっと故郷に戻ることができほっとしていると同時に想像していた環境とのギャップの大きさに戸惑いを感じているのも現実です。今後は自身等で工夫し慣れて行くしかないと考えています。
- ・ 震災から生活が一変し不安定な時があり子どもたちの精神面、自分の精神面つらい10年でした。8年目に災害公営住宅が完成し入居できて今はだいぶ前向きになりました。たくさんの支援とたくさんの人のあたたかい支えのおかげで今があります。本当に感謝です。ありがとうございました。
- ・ 正直な所、すでに内陸で就職をしたことにより生活基盤としてはある程度の安定はしてきたと思います。ただし、10年経過したことにより、同居している親が高齢化してきたことや自分自身も年齢が30代後半になってきたことを考えると今後現状の生活が維持できるかは不安な部分もあります。

#### (4) 県や市町村への要望

##### 【県外】

- ・ 避難元市町村に土地があるので、広報などの情報はほしい。
- ・ 町の変化の様子が気になっています。一般の方が撮った動画を YouTube で見たりするのですがもっといろいろな場所の様子が見られると良いと思っています。
- ・ 被災地の子どもの遊び場は確保されているか。公園など以外自然と親しむことができる場所。(本来自然豊かな場所が多いはずなのに防潮堤に囲まれ町もコンクリートやアスファルトで固められているところが多いと感じているため)

##### 【県内】

- ・ 避難者同士の話し合いがあったらいいと思います。
- ・ 避難元市町村の福祉施設の情報を知りたい。
- ・ 10年たったのでもう県からの知らせは知らない。

#### (5) 今の生活で困っていることや不安なこと

##### 【県外】

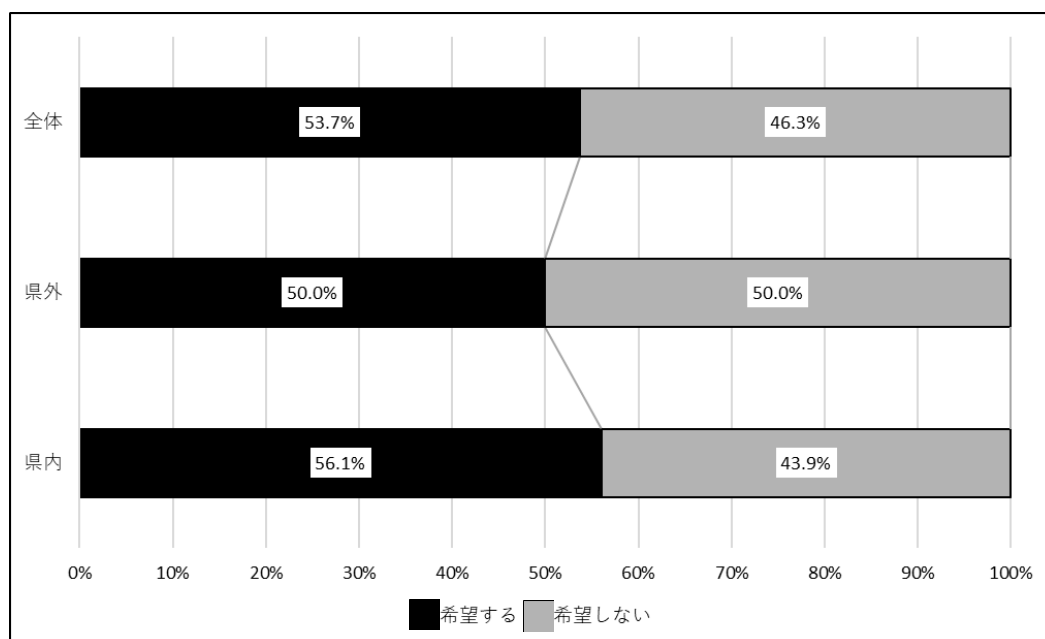
- ・ 家はとりあえず再建しました、支払いに追われ大変です。
- ・ コロナで帰郷出来なくて故郷と断絶している気分です。
- ・ 残った土地が売れず不安。

##### 【県内】

- ・ 内陸に飲食店をスタートさせて頑張ればお客様に喜んでもらえる一心で頑張ってきたがこのコロナの影響で全然見通しが立ちません。
- ・ 震災前は自宅(家族所有)一軒家で住宅ローンもなく生活していたので、自宅を再建したのは良いが、80才まで支払いが続く住宅ローンが非常に厳しいです。
- ・ 被災時住んでいた自宅は現在も空き家。土地や家屋についてどのようにしなければならぬか思案している。
- ・ 避難元市町村に墓地がありそのことで悩んでおります。

#### 問 10 今後も情報提供を希望しますか。(現在情報提供を受けている方のみ回答。)

県内避難者については「希望する」が半数を超えているが、県外避難者については「希望する」「希望しない」が半々となっている。



【参考】 県内、避難元市町村への帰郷予定について（令和元年度調査との比較）

今回の調査は、令和元年度の前回調査で「2年以内に帰郷する予定がある」「いずれは帰郷したいが、当面は考えていない」「未定」と回答した世帯及び「無回答」であった世帯を対象としている。

また、前回調査は、応急仮設住宅の供与期間の延長期限終了時期（令和3年3月末）を見据えて2年以内の帰郷意思を確認する調査としていたのに対し、今回の調査は、第2期復興・創生期間終了時期（令和8年3月末）を見据えて5年以内の帰郷意思を確認する調査としている。

以上の2点から、前回調査と今回の調査を単純に比較することはできないが、県外・県内避難者共に令和元年度時点で帰郷意思があった世帯や未定、無回答であった世帯の半数以上が「帰郷予定なし」と回答しており、発災から10年が経過する中で、避難先自治体での定住を選択する流れが強まっている。

